

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

法隆寺地域の仏教建造物

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

奈良県生駒郡斑鳩町

3. 記載年

1993年

4. 評価基準

(i)、(ii)、(iv)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

建造物群

6. 資産に影響を与える要因

類型1	普及と来訪を即す施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	法隆寺iセンター、斑鳩文化財センター	好影響	顕在的	外部

類型2	暴風	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	台風	悪影響	潜在的	内部

類型3	地震	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	東南海・南海地震	悪影響	潜在的	内部

類型4	管理活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	巡回・宿直警備・監視カメラ等	好影響	顕在的	内部

7. 保存管理体制の状況

本登録遺産を構成する建造物48棟は、国宝または重要文化財として、国が文化財保護法の規定によって指定しており、保護・保存の措置がとられている。また法隆寺区域は国が史跡に指定し、地上の建造物と地下の遺構の保

存を図っている。

登録資産の緩衝地帯（バッファゾーン）は、古都保存法の規定に基づいて1966年国が斑鳩町歴史的風土保存区域として指定し、また奈良県風致地区条例に基づき、1966年奈良県が斑鳩風致地区として指定し、全域の歴史的風土と自然環境の保全を図っている。

8. 保護措置

世界遺産一覧表記載以降、新たな保護措置は講じていない。

9. 予算措置

年度	予算額（千円）
23	143,613
22	193,701
21	175,000
20	175,000
19	110,000

10. 来訪者の状況

年	来訪者数（人）
22	—
21	959,000
20	995,000
19	904,000
18	759,000

※平成22年の来訪者数は、平成23年秋頃に集計予定。

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

姫路城

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

兵庫県 姫路市

3. 記載年

1993年

4. 評価基準

(i)、(iv)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

建造物群

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	普及と来訪を促す施設	好影響	顕在的	内/外部

類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	地上輸送インフラ	好影響	顕在的	外部
名称2	輸送インフラの使用により生起する影響	悪影響	潜在的	内部

類型3	公共施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	主要な線型ユーティリティ	悪影響	潜在的	内部

類型8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	観光/来訪者/レクリエーションの影響	好/悪影響	潜在的	内部

類型 9	その他の人間活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	遺産の意図的な破壊	悪影響	顕在的	内部

類型 10	気候変動と天災	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	暴風	悪影響	潜在的	内/外部

類型 11	生態的あるいは地学的な突然の出来事（自然災害）	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 2	地震	悪影響	潜在的	内/外部

類型 13	管理及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	影響の小さい研究／モニタリング	好影響	顕在的	内部
名称 2	管理活動	好影響	顕在的	内部

7. 保存管理体制の状況

(1) 管理団体
姫路市

(2) 担当部局
〔府県〕 兵庫県教育委員会 社会教育課文化財室
〔市町〕 姫路市教育委員会 文化財課

8. 保護措置

姫路市立公園条例（平成18年制定）

・都市公園法に基づく都市公園のほか、姫路市が設置する公園の設置及び管理について必要な事項を定めるもの。姫路城を中心とする都市公園姫路公園の健全な発達を図るもの。

特別史跡姫路城跡整備基本構想（平成20年3月策定）

・昭和61年に策定した整備基本構想の全面的見直しを行い、対象エリアを特別史跡指定地であり、世界遺産資産である内曲輪、中曲輪と外曲輪及びバッファゾーンに区分し、それぞれのエリアごとに保存管理、史跡整備、景観誘導などについての基本方針と将来のありべき姿を示した。

特別史跡姫路城跡整備基本計画（平成23年3月）

・特別史跡姫路城跡整備基本構想の全面見直しを受け、特別史跡姫路城跡整備管理方針に替わる特別史跡姫路城跡の保存管理計画を策定。

9. 予算措置

（単位：千円）

	兵 庫 県	姫 路 市
平成19年度	14,900	41,757
平成20年度	13,973	46,959
平成21年度	6,923	182,640
平成22年度	12,372	217,356
平成23年度	12,822	177,165

10. 来訪者の状況

	来 訪 者 数
平成18年度	900千人
平成19年度	1,023千人
平成20年度	1,195千人
平成21年度	1,562千人
平成22年度	458千人

11. その他

式典等

・平成23年3月26日 天空の白鷺オープンセレモニー

世界遺産一覧表記載資産保全状況報告書

1. 資産名称

古都京都の文化財（京都市・宇治市・大津市）

2. 所在地（都道府県及び市町村名）

京都府 京都市、宇治市
滋賀県 大津市

3. 記載年

1994年

4. 評価基準

(Ⅱ)、(Ⅳ)

5. 資産の適用種別（記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無）

記念工作物、建造物群
文化的景観の適用 無

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	住宅開発	悪影響	潜在的	外部
名称2	スカイライン規制	好影響	顕在的	外部
名称3	来訪者施設と関連するインフラ	好影響	顕在的	外部
名称4	普及と来訪を促す施設(標識)	好影響	顕在的	内部

類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	地上輸送インフラ	好影響	顕在的	外部
名称2	輸送インフラの使用により生起する影響（パークアンドライドの試験実施）	好影響	顕在的	外部

類型3	公共施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

資料 2 - 3

類型 4	汚染	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 5	生物学的資源の利用と変更	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 6	物的資源の採取	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 7	物理的構造に影響を与える現地状況	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	外虫(マツクイムシとナラ枯れ)	悪影響	潜在的	外部

類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	宗教施設の建設	好影響	潜在的	内部
名称 2	資産の内外部における販売行為の増加	好影響	潜在的	内部

類型 9	その他の人間活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 10	気候変動と天災	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 11	自然災害	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 12	侵略的/外来種又はその数が著しく増加した生物種	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
	該当なし			

類型 13	管理及び制度上の問題	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	管理活動(所有者の日常管理)	好影響	顕在的	内部

7. 保存管理体制

① 都道府県及び市町村における担当部局

京都府	京都府教育庁指導部文化財保護課
京都市	京都市文化市民局文化財保護課
宇治市	宇治市歴史まちづくり推進課
滋賀県	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
大津市	大津市教育委員会文化財保護課

② 専門家/有識者による委員会の設置

なし

③ その他

基本的には下記各資産所有並びに管理者が管理

① 賀茂別雷神社	宗教法人賀茂別雷神社
② 賀茂御祖神社	宗教法人賀茂御祖神社
③ 教王護国寺	宗教法人教王護国寺
④ 醍醐寺	宗教法人醍醐寺
⑤ 仁和寺	宗教法人仁和寺
⑥ 延暦寺	宗教法人延暦寺
⑦ 清水寺	宗教法人清水寺
	宗教法人地主神社
⑧ 平等院	宗教法人平等院
⑨ 宇治上神社	宗教法人宇治上神社
⑩ 鹿苑寺	宗教法人鹿苑寺
⑪ 慈照寺	宗教法人慈照寺
⑫ 高山寺	宗教法人高山寺
⑬ 西芳寺	宗教法人西芳寺
⑭ 天龍寺	宗教法人天龍寺
⑮ 龍安寺	宗教法人龍安寺
⑯ 本願寺	宗教法人本願寺
⑰ 二条城	京都市元離宮二条城事務所

8. 保護措置

世界遺産一覧表記載以降、新たな保護措置は講じていない。

9. 予算措置

(単位：円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
京都府	1,388,441	1,121,430	1,117,795	1,332,841	2,421,463
滋賀県	1,052,033	940,264	1,015,963	899,144	941,027

※上記予算額は、世界遺産以外の文化財を含む文化財保護措置の予算額。

10. 来訪者の状況

各資産毎の来訪者数は把握していない。

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

白川郷・五箇山の合掌造り集落

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

岐阜県 白川村

富山県 南砺市

3. 記載年

1995年

4. 評価基準

(iv)、(v)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

建造物群

文化的景観の適用 無

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	普及と来訪を促す施設	好影響	顕在的	内部外部

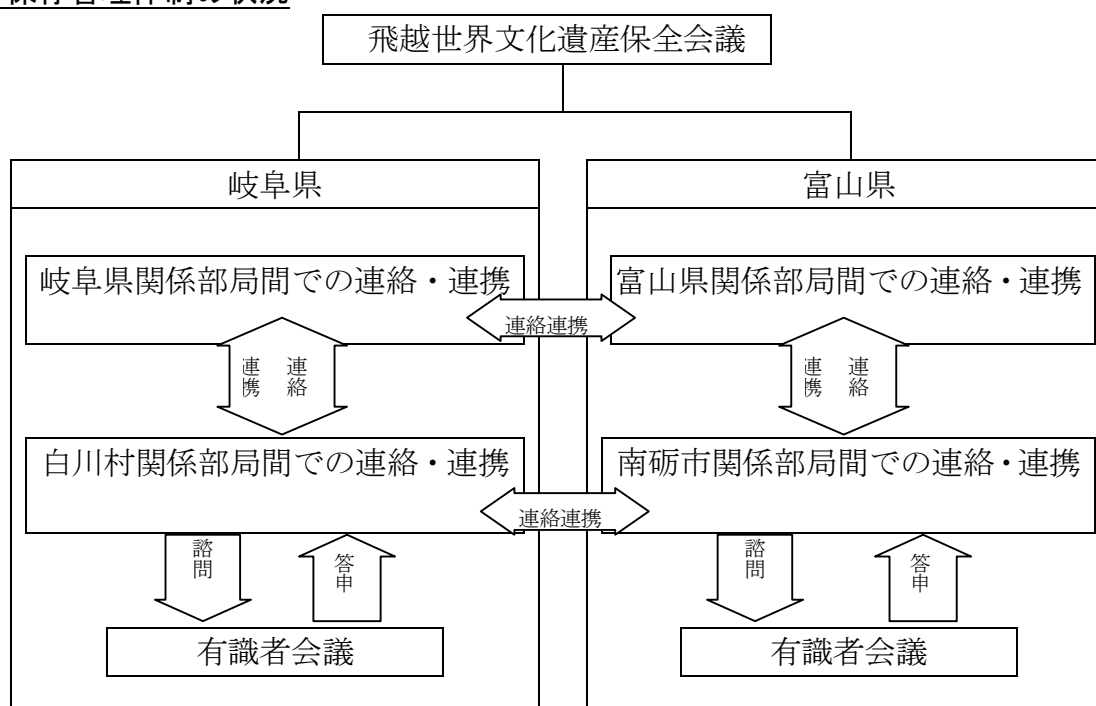
類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	地上輸送インフラ	好影響	顕在的	外部
名称2	輸送インフラの使用により生起する影響	悪影響	潜在的	外部

類型5	生物学的資源の利用と変更	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	作物生産	好影響	顕在的	内部

類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	儀式的/精神的/宗教的及び共同活用	好影響	顕在的	内部外部
名称 2	観光/来訪者/レクリエーションの影響	好影響・悪影響	潜在的	内部外部

類型 1 3	管理上及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	影響の小さい研究/モニタリング活動	好影響	顕在的	内部外部
名称 2	管理活動	好影響	顕在的	内部外部

7. 保存管理体制の状況



8. 保護措置

<白川村>

- ・ 白川村景観条例（平成 15 年 9 月制定、平成 20 年 3 月改正）
- ・ 白川村景観計画（平成 20 年 3 月策定）
- ・ 白川村世界遺産マスタープラン（平成 22 年 12 月策定）

<南砺市>

- ・ 南砺市伝統的建造物群保存地区保存条例（平成16年11月制定、平成17年6月改正）
- ・ 平村自然環境及び文化的景観の保全に関する条例（平成6年6月制定、南砺市暫定条例）
- ・ 上平村自然環境及び文化的景観の保全に関する条例（平成6年6月制定、南砺市暫定条例）

9. 予算措置

白川村（白川村荻町伝統的建造物群保存地区保存修理事業等）

年 度	伝建事業	合掌財団事業	合 計
平成19年度	28,000千円	29,000千円	57,000千円
平成20年度	44,300千円	22,200千円	66,500千円
平成21年度	53,500千円	23,200千円	76,700千円
平成22年度	52,100千円	20,600千円	72,700千円
平成23年度	84,040千円	25,100千円	109,140千円

南砺市（世界遺産関係事業）

年 度	
平成19年度	58,691千円
平成20年度	77,213千円
平成21年度	78,058千円
平成22年度	80,566千円
平成23年度	95,434千円

※南砺市の世界遺産関係事業費は、世界遺産に含まれる文化財保存修理等に係る総事業費を示す。

10. 来訪者の状況

白川村

年	来 訪 者 数
平成18年	1,466,000人
平成19年	1,464,000人
平成20年	1,861,000人
平成21年	1,731,000人
平成22年	1,400,000人

南砺市

年	来 訪 者 数
平成18年	706,000 人
平成19年	706,000 人
平成20年	820,000 人
平成21年	880,000 人
平成22年	815,000 人

※来訪者数については白川村、南砺市ともに「年（1月～12月）」にて集計

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

原爆ドーム

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

広島市中区大手町

3. 記載年

1996年

4. 評価基準

(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

記念工作物、遺跡

文化的景観の適用 無

6. 資産に影響を与える要因

類型 1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	普及と来訪を促す施設	好影響	顕在的	外部
類型 11	生態的あるいは地学的な突然の出来事(自然災害)	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地震	悪影響	潜在的	内/外部

7. 保存管理体制の状況

(1) 広島県の保存管理体制

広島県教育委員会事務局管理部文化財課が担当する。

(2) 広島市の保存管理体制

広島市市民局国際平和推進部平和推進課、市民局文化スポーツ部文化財課、都市整備局緑化推進部及び都市整備局都市計画課が連携して担当する。

学識経験者による原爆ドーム保存技術指導委員会を設置している。

8. 保護措置

世界遺産一覧表記載以降、新たな保護措置は講じていない。

9. 予算措置

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
広島県	0	0	0	0	0
広島市	4,464	38,391	23,984	9,201	34,420

(単位：千円)

10. 来訪者の状況

区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
人数	1,240	1,339	1,357	1,401	1,330

(単位：千人)

※来訪者数は、近接する広島平和記念資料館の入館者数である。

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

厳島神社

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

広島県廿日市市宮島町

3. 記載年

1996年

4. 評価基準

(i), (ii), (iv), (vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

記念工作物、遺跡、建造物群

文化的景観の適用 無

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	展望台建替	好影響	顕在的	内部
名称2	標識等設置	好影響	顕在的	内部・外部

類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	ロープウェイ改修	好影響	顕在的	内部・外部
名称2	フェリー・栈橋改修	好影響	顕在的	外部
名称3	輸送インフラの使用による影響	好影響	顕在的	内部・外部

類型7	物理的構造に影響を与える現地状況	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	風	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	宗教儀式	好影響	顕在的	内部・外部
名称 2	遺産の社会的位置づけ	好影響	顕在的	内部・外部
名称 3	過度の観光	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 9	その他の人間活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	落書等	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 10	気候変動と天災	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	台風	悪影響	潜在的	内部・外部
名称 2	洪水・土石流	悪影響	潜在的	内部・外部
名称 3	海洋水の変化	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 11	生態学的あるいは地学的な突然の出来事（自然災害）	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地すべり・土石流	悪影響	潜在的	内部・外部
名称 2	火災	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 12	侵略的/外来種又はその数が著しく増加した生物種	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	アルゼンチンアリの来島	悪影響	潜在的	内部・外部

類型 13	管理上及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	影響の小さい研究	好影響	潜在的	内部・外部
名称 2	影響の大きい研究	悪影響	潜在的	内部・外部
名称 3	管理活動	好影響	顕在的	内部・外部

7. 保存管理体制の状況

(1) 広島県の保存管理体制

広島県教育委員会事務局管理部文化財課が担当する。

特別史跡及び特別名勝厳島の保存管理計画の策定に関すること及び特別史跡及び特別名勝厳島の現状変更に関することについて審査又は調査を行うため、広島県文化財保護審議会に厳島特別部会が置かれている。

(2) 廿日市市の保存管理体制

廿日市市教育委員会事務局教育部文化スポーツ課が担当する。

世界遺産の保存管理について審議するため、廿日市市文化財保護審議会が置かれている。

8. 保護措置

広島県教育委員会では、平成 19 年 1 月に、特別史跡及び特別名勝厳島保存管理計画を策定した。範囲は特別史跡及び特別名勝の指定地（資産区域及び緩衝地帯全域）

9. 予算措置

区分	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
広島県	116	6,467	6,893	2,386	10,931
廿日市市	116	6,467	6,893	2,386	10,931

(単位：千円)

10. 来訪者の状況

区分	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度
人数	2,832	3,076	3,435	3,465	3,426

(単位：千人)

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

古都奈良の文化財

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

奈良県奈良市

3. 記載年)

1998年

4. 評価基準

(ii)、(iii)、(iv)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

遺跡、建造物群

文化的景観の適用 有

6. 資産に影響を与える要因

類型1	普及と来訪を即す施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	平城宮跡資料館・1300年祭関連施設等	好影響	顕在的	内部

類型2	水インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	岩井川ダム(治水ダム)	悪影響	潜在的	外部

類型3	暴風	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	台風	悪影響	潜在的	内部

類型4	地震	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	東南海・南海地震	悪影響	潜在的	内部

類型5	管理活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	巡回・宿直警備・監視カメラ等	好影響	顕在的	内部

7. 保存管理体制の状況

本登録遺産のうち、建造物は国宝・重要文化財として、春日山原始林は特別天然記念物として、平城宮跡は特別史跡として、国が文化財保護法の規定によって指定しており、保護・保存の措置がとられている。また、建造物が所在する地域は、国が史跡に指定し、指定地内の環境と地上の建造物群および地下遺構の保存を図っている。

各資産は、近接部を都市計画的規制が実施された緩衝地帯（バッファゾーン）によって保護されているほか、各緩衝地帯の間にも「歴史的環境調整区域」が設定され、歴史的風致景観と都市開発等の調和を図り、古都奈良の環境を保全している。

8. 保護措置

- ・「特別史跡平城宮跡保存整備基本構想推進計画」（2008年策定、文化庁）
基本構想の進捗状況及び平城宮跡における現状と課題を示し、保存管理、調査研究等、活用、整備、景観保全、整備実施・管理運営に関する方針を示して、今後の基本構想推進に向けた計画とする。
- ・「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域基本計画」（2008年策定、国土交通省）
歴史・文化資産である特別史跡平城宮跡の一層の保存・活用を図ることを目的とし、公園整備・管理の基本計画を定める。
- ・「奈良市景観計画」（2010年施行、都市整備部景観課）
「奈良市都市景観形成基本計画」及び「奈良市都市景観条例」（2009年なら・まほろば景観まちづくり条例に改正）に基づく景観施策を継承し、より一層推進するため、景観法（2004年）に基づく新たな法定計画として策定。

9. 予算措置

年度	予算額（千円）
23	69,000
22	74,000
21	94,000
20	106,000
19	96,700

10. 来訪者の状況

年	来訪者数（人）
22	—
21	13,966,900
20	14,351,000
19	13,883,000
18	13,468,000

※平成 22 年の来訪者数は、平成 23 年秋頃に集計予定。

11. その他

第 35 回世界遺産委員会において「古都奈良の文化財」の構成資産である平城宮跡について、保全状況に関する勧告が出されたが、その対処方針は下記のとおりである。

- ・京奈和自動車道大和北道路工事実施に伴う地下水モニタリングシステムとリスク低減を目的とした計画については、「大和北道路地下水モニタリング検討委員会」において議論が続けられており、引き続きその進捗状況を報告する。
- ・平城遷都 1300 年祭に関連する仮設物を急ぎ全て撤去するよう求められたが、その対応については、5 年後をめどに撤去する方向で、文化庁と奈良県が今後調整し報告する。
- ・国営公園事業において、建造物の復元等整備を行うにあたっては、専門的な知見を有する学識経験者による検討委員会において、十分な検討が行われており、具体の計画に関する理論的根拠が整理された段階で報告する。

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

日光の社寺

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

栃木県日光市

3. 記載年

1999年

4. 評価基準

(i)、(iv)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

遺跡、建造物群

文化的景観の適用 有

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	周辺の宿泊施設と関連インフラ	好影響	顕在的	外部
名称2	周辺の案内標識類	好影響	顕在的	内/外部

類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	公共交通機関	好影響	顕在的	内/外部
名称2	各種駐車場	好影響	顕在的	内/外部

類型3	公共施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	社寺水道の整備	好影響	顕在的	内部
名称2	社寺電気事務所(水力)の整備	好影響	顕在的	内部
名称3	水道・配電施設の整備	好影響	顕在的	内部

類型 7	物理的構造に影響を与える現地状況	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	高湿度による内外装への影響	悪影響	顕在的	内部
名称 2	直射日光による外装への影響	悪影響	顕在的	内部
名称 3	シロシロ類による建築物への影響	悪影響	顕在的	内部
名称 4	カビ類による内外装への影響	悪影響	顕在的	内部

類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	祭礼等の継続的な実施	好影響	顕在的	内部
名称 2	観光客の来訪	好影響	顕在的	内/外部

類型 9	その他の人間活動	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	落書等の人的被害	悪影響	潜在的	内/外部

類型 10	気候変動と天災	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	落雷による周辺森林への被害	悪影響	潜在的	内/外部
名称 2	洪水の発生	悪影響	潜在的	外部

類型 11	生態学的あるいは地学的な突然の出来事（自然災害）	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地震の発生	悪影響	潜在的	外部
名称 2	土砂災害の発生	悪影響	潜在的	内部
名称 3	落雷による火災の発生	悪影響	潜在的	内部

類型 13	管理上及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	定期的な環境調査の実施	好影響	顕在的	内/外部

7. 保存管理体制の状況

- ① 栃木県教育委員会事務局 文化財課
日光市教育委員会事務局 生涯学習課
- ② 史跡 日光山内保存・活用協議会設立準備中

8. 保護措置

2008年（平成20年）登録資産全域と、緩衝地帯の一部を日光市景観条例による景観計画重点区域に指定

9. 予算措置

（栃木県）

- 平成23年度 2,800千円
- 平成22年度 2,800千円
- 平成21年度 2,800千円
- 平成20年度 2,800千円
- 平成19年度 2,800千円

（日光市）

- 平成23年度 618千円
- 平成22年度 454千円
- 平成21年度 441千円
- 平成20年度 425千円
- 平成19年度 401千円

10. 来訪者の状況

- 平成22年度 2,053千人（共通拝観券による。以下同じ）
- 平成21年度 2,000千人
- 平成20年度 1,823千人
- 平成19年度 1,639千人
- 平成18年度 1,444千人

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

琉球王国のグスク及び関連遺産群

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

沖縄県 今帰仁村、読谷村、うるま市、中城村、北中城村、那覇市、南城市

3. 記載年

2000年

4. 評価基準

(ii)、(iii)、(vi)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

遺跡、記念工作物

文化的景観の適用 有

6. 資産に影響を与える要因

類型 1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	普及と来訪を促す施設	好影響	顕在的	外部

類型 2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地上輸送インフラ	好影響	顕在的	外部
名称 2	輸送インフラの使用により生起する影響	好影響	顕在的	外部

類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	儀式的/精神的/宗教的及び共同活用	好影響	顕在的	内部
名称 2	遺産の社会的価値づけ	好影響	顕在的	外部
名称 3	アイデンティティ、社会的結びつき、地元住民及びコミュニティーにおける変化	好影響	顕在的	内部
名称 4	遺産の社会的価値づけ	好影響	顕在的	外部

類型 10	気候変動と天災	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	暴風	悪影響	潜在的	内/外部

類型 11	生態的あるいは地学的な突然の出来事(自然災害)	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地震	悪影響	潜在的	内/外部
名称 2	津波	悪影響	潜在的	内/外部

類型 13	管理及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	影響の小さい研究/モニタリング活動	好影響	顕在的	内部
名称 2	管理活動	好影響	顕在的	内/外部

7. 保存管理体制の状況

世界遺産関係市町村連絡会議の設置（県・世界遺産所在7市町村）

8. 保護措置

世界遺産一覧表記載以降、新たな保護措置は講じていない。

9. 予算措置

平成19年度	26,000千円
平成20年度	29,000千円
平成21年度	31,000千円
平成22年度	28,000千円
平成23年度	85,000千円

10. 来訪者の状況

平成18年度	336万人
平成19年度	339万人
平成20年度	344万人
平成21年度	310万人
平成22年度	303万人

11. その他

無

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

紀伊山地の霊場と参詣道

2. 所在地

三重県 熊野市 尾鷲市 大紀町 紀北町 御浜町 紀宝町

奈良県 五條市 吉野町 川上村 黒滝村 天川村 上北山村 下北山村
十津川村 野迫川村和歌山県 田辺市 新宮市 那智勝浦町 九度山町 かつらぎ町 高野町
白浜町 すさみ町**3. 記載年**

2004年

4. 評価基準

(ii). (iii). (iv). (vi)

5. 資産の適用種別（記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無）

記念工作物、遺跡、文化的景観

6. 資産に影響を与える要因

類型 1	建造物と開発	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
普及と来訪を促す施設	ビジターセンターの開設 看板の設置	好影響	顕在的	内外部
類型 2	輸送インフラ	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
地上輸送インフラ	国道の改修工事	悪影響	顕在的	外部
類型 3	公共施設	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
地域のユーティリティ施設	電波中継塔の建設	悪影響	顕在的	外部

類型 4	汚染	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
地表水汚染	ダム堆積汚泥排出による熊野川汚濁	悪影響	顕在的	内部
類型 5	生物学的資源の利用と変更	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
林業/木材生産	森林景観の保持	好影響	顕在的	外部
類型 6	物的資源の採取	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
採石	砂利採取による水位安定	好影響	顕在的	内外部
類型 7	(該当なし)	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
類型 8	遺産の社会的/文化的活用	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
儀式的/精神的/宗教的及び共同活用	特殊神事における共同活用の活性化	好影響	顕在的	内部
遺産の社会的価値づけ	関連遺産の保護と追加登録の取り組み開始	好影響	顕在的	外部
伝統的な生活の在り方や知識体系の変化	過疎化、高齢化が進む	悪影響	顕在的	内外部
観光/来訪者/レクリエーションの影響	宣伝・普及効果が大き 来訪者の集中による路面や樹木の消耗	好影響 悪影響	顕在的	内外部
類型 9	その他の人間活動	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
遺産の意図的な破壊	樹木への危害、石造物破壊、放火等	悪影響	潜在的	内外部
類型 10	気候変動と天災	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
暴風	台風被害	悪影響	顕在的	内外部
類型 11	生態学的あるいは地学的な突然の出来事(自然災害)	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
地震	紀伊半島沖地震の発生	悪影響	顕在的	内外部
津波	海浜の参詣道の流失	悪影響	潜在的	内外部
雪崩/地滑り	山岳地帯における土砂崩れ、地滑りの発生	悪影響	顕在的	内外部
浸食とシルテーション/堆積	波と海流による汀線の後退	悪影響	顕在的	内外部
類型 12	(該当なし)	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
類型 13	管理上及び制度上の要因	好影響/ 悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
影響の小さい研究/モニタリング	石段石畳調査、石造物調査等、資産の価値を高める調査	好影響	顕在的	内部
管理活動	参詣道の一部における監視活動実施	好影響	顕在的	内外部

7. 保存管理体制の状況

本遺産を構成する資産（コア）は、史跡、名勝、天然記念物、国宝、重要文化財の何れかに指定されており、「文化財保護法」に基づき適正に保存管理されている。

また、資産の周囲の緩衝地帯（バッファゾーン）は、「自然公園法」をはじめ、県の「自然公園条例」や「景観条例」、市町村の「歴史的景観保護条例」等により、一定以上の規模・内容の現状変更等については事前許可を要する保護規制の網がかけられている。

こうした法規の運用については、資産の所在する県、管理団体である市町村が、国の指導のもと、本遺産の顕著な普遍的価値を認識したきめ細やかな対応を行っている。

加えて、本資産は三県にまたがることから、各県の知事を会長、副会長とする、『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』を置き、保存と適切な活用について、「専門委員会」及びオブザーバーである関係省庁の意見を仰ぎ、緊密な協力体制を維持している。

8. 保護措置

【国、三県関係】

- ・『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」保存管理計画』

平成18年1月策定。

平成16年に第28回世界遺産委員会が「世界遺産一覧表」への記載に際して策定を求めた、個々の構成資産と周辺地域に関する「詳細な保存管理計画」で、平成18年1月末にユネスコ世界遺産センターに提出し、同年7月開催の第30回世界遺産委員会で承認された。

【県関係】

- ・『和歌山県世界遺産条例』

平成17年3月制定。

和歌山県域に所在する世界遺産の構成資産と周辺地域の保存と適切な活用を目的とする。

- ・『和歌山県景観条例』

平成20年3月制定。

世界遺産の構成資産である「霊場熊野三山」と「熊野参詣道（中辺路・小辺路）」、及び「大峯奥駈道」と周辺地域のそれぞれ一部を「特定景観形成地域」として指定、保護。

【市町村関係】

- ・『尾鷲市熊野参詣道伊勢路景観保護条例』

平成19年3月改正

平成14年6月制定の条例を改正し、熊野参詣道(伊勢路)沿いの緩衝地帯に適用。

- ・『高野町景観条例』

平成20年12月制定。

世界遺産の構成資産である「霊場高野山」の周辺地域の町並み及び寺院境内を「高野山景観地区」とし、また、構成資産「高野山町石道」及び「熊野参詣道(小辺路)」の一部の周辺地域を「町石道・小辺路周辺準景観地区」として規制強化し、文化的景観の保全と、より良好な景観形成を目指す。

9. 予算措置

(単位：千円)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	計
三重県	7,774	6,615	4,409	5,119	3,807	27,724
奈良県	49,398	59,220	62,957	69,545	59,399	300,519
和歌山県	34,359	99,085	114,603	125,318	111,527	484,892
合計	91,531	164,920	181,969	199,982	174,733	813,135

・コア及びバッファに関する保存管理事業に限定。

10. 来訪者の状況

(単位：千人)

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	計
三重県	154	150	149	201		654
奈良県	3,118	2,995	2,911	2,586		11,610
和歌山県	10,703	11,383	11,011	10,657		43,754
合計	13,975	14,528	14,071	13,444		56,018

・22年度の来客者数は未集計。

・奈良県は、世界遺産(吉野地域)観光客数(「奈良県観光客動態調査報告書」による)

・和歌山県は、世界遺産登録地域の観光客数(「和歌山県観光客動態調査報告書による」)

11. その他

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」では、登録資産0.58haの山林が無断伐採されるという事態が発生した。(2011.4)

この山林は、熊野三山熊野速玉大社境内地千穂ヶ峯の一部で、世界遺産の本質的価値である文化的景観を有している。本件は、資産管理市の適法公共事業である枝払い完了後、近隣住民の日照問題に関わって森林組合が枝払いした樹木をさらに皆伐するという事態

を引き起こしたものである。

対応措置としては、まず伐採地の早期復旧が挙げられる、また事態の原因究明を徹底し再発防止に向けた啓発活動の強化にも努める必要がある。

世界遺産一覧表記載資産 保全状況報告書

1. 資産名称

石見銀山遺跡とその文化的景観

2. 所在地(都道府県及び市町村名)

島根県大田市

3. 記載年

2007年

4. 評価基準

(ii)、(iii)、(v)

5. 資産の適用種別(記念工作物、遺跡、建造物群の別、文化的景観の適用の有無)

遺跡、建造物群

文化的景観の適用 有

6. 資産に影響を与える要因

類型1	建造物と開発	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	集落の空家化	悪影響	顕在的	内部
名称2	伝統的建造物(民家等)の修理・修景	好影響	顕在的	内部
類型2	輸送インフラ	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	国道9号バイパスの建設	悪影響	顕在的	外部
類型3	公共施設	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称1	合併浄化槽・下水道の整備	悪影響	顕在的	内部

名称 2	電線類の地中化（無電中化）	好影響	顕在的	内部
------	---------------	-----	-----	----

類型 4	汚染	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	海洋投棄物の漂着	悪影響	顕在的	内/外部

類型 5	生態学的あるいは地学的な突然の出来事（自然災害）	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	落石・土砂流出（とその対策工事）	悪影響	顕在的	内/外部

類型 8	遺産の社会的／文化的活用	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	社寺を支える体制の変化	悪影響	顕在的	内部

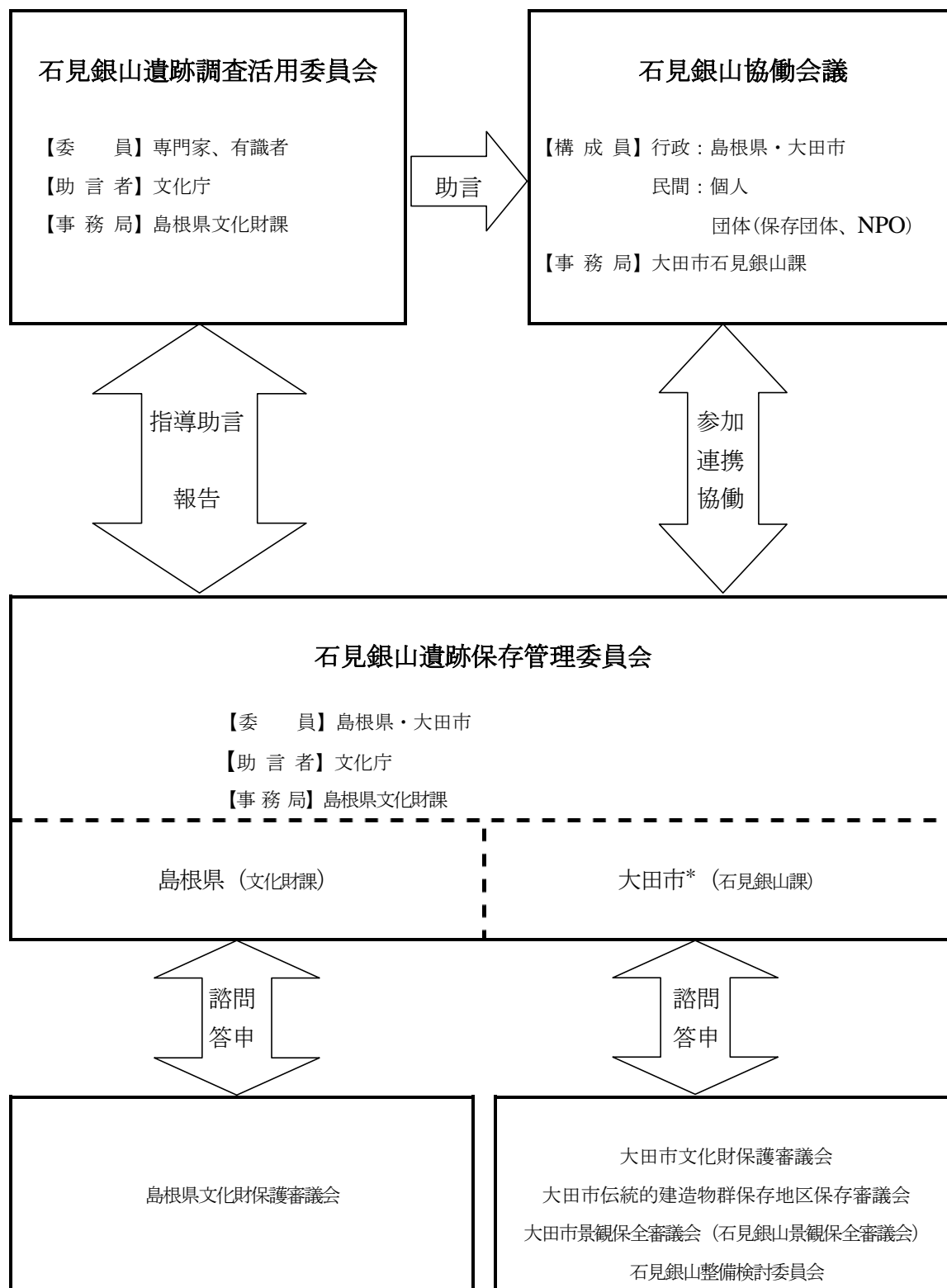
類型 11	生態学的あるいは地学的な突然の出来事（自然災害）	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	地震	悪影響	潜在的	内/外部
名称 2	津波	悪影響	潜在的	内/外部

類型 12	侵略的／外来種又はその数が著しく増加した生物種	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	カシノガキムシ（によるナラ枯れ被害）	悪影響	顕在的	内/外部
名称 2	サル・イノシシ（による農作物等への被害）	悪影響	顕在的	内/外部

類型 13	管理上及び制度上の要因	好影響/悪影響	顕在的/潜在的	内部/外部
名称 1	発掘調査、文献調査、植生管理調査、希少種コウモリの生息調査	好影響	顕在的	内/外部
名称 2	遺跡パトロール、環境美化活動	好影響	顕在的	内/外部

7. 保存管理体制の状況

石見銀山遺跡の保存管理にかかる運営体制図



*大田市では石見銀山プロジェクト本部会議（本部長：副市長、構成員：関係部長）を開催し、石見銀山遺跡の保存管理に係る情報・課題の共有をはじめ、市が実施する各種事業の調整等の作業を行っている。

8. 保護措置

2007年12月4日告示	大森銀山地区の重要伝統的建造物群保存地区追加選定
2008年3月28日告示	石見銀山街道鞆ヶ浦道・温泉津沖泊道の国史跡追加指定
2009年12月8日告示	温泉津地区の重要伝統的建造物群保存地区追加選定
2008年3月27日告示	大田市大森銀山伝統的建造物群保存地区保存計画
2009年8月3日告示	大田市温泉津伝統的建造物群保存地区保存計画
2009年9月30日公布	大田市景観条例（※石見銀山景観保全条例を内包するもの）
2010年1月8日公布	大田市景観保全条例施行規則（※同施行規則を内包するもの）

9. 予算措置

（単位：千円）

	島根県	大田市
H19	155,359	1,095,704
H20	179,298	512,598
H21	163,554	424,451
H22	134,539	391,476
H23	130,444	338,502

10. 来訪者の状況

	来訪者人数
H18	400,000
H19	713,700
H20	813,200
H21	560,200
H22	504,800

*内訳（一部）

	石見銀山資料館	龍源寺間歩	旧河島家	熊谷家住宅	世界遺産センター
H18	37,730	95,260	11,852	38,340	
H19	131,866	363,152	42,442	59,085	81,501
H20	104,878	363,814	40,837	50,997	193,781
H21	53,603	239,129	14,498	21,125	182,002
H22	35,930	196,476	10,764	13,860	136,977

11. その他

●世界遺産石見銀山関連講座

8月20日「田儀櫻井家の製鉄業と石見国～出雲の国から石見銀山遺跡を考えてみる」(島根県出雲市)

11月13日「益田と石見銀山の港湾を考える～土地利用から～」(仮)(島根県益田市)

●石見銀山世界遺産センター公開講座(平成23年度は年3回)

5月29日(第11回)「明代中国における銀流通」

9月4日(第12回)「世界遺産条約のきっかけとなった遺跡群が語るもの」(仮)

3月10日(第13回)「石見銀山。調査研究最前線！」